

キャラクター名
アルシマ・ディヴィノリア

プレイヤー名

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	傭兵	性別	女	年齢	18
冒険者Lv	13	経歴	家族に魔法使いがいる (いた)		
経験点	-109850		大きな挫折をした事がある 神器を見た事がある		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	7	器用度	9	32	48	8
		敏捷度	11	30	48	8
体	10	筋力	12	29	1	52
		生命力	8	6		24
心	4	知力	8	18		30
		精神力	9	5	30	48

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	13	アルケミスト	5				
シューター	13						
プリースト	13						
マジテック	13						
スカウト	10						
セージ	3						
エンハンサー	10						

戦闘特技			
タフネス	2122p	魔力撃	IB39p
ルーンマスター	IB34p	魔力撃強化	IB32p
バトルマスター	3143p	スローイング	IB30p
トレジャーハント	2120p	射手の体術	IB29p
ファストアクション	2123p	足さばき	IB29p
影走り	2120p	クリティカルキャスト	IB36p
武器習熟A/アックス	IB31p	精密射撃	IB30p
武器習熟S/アックス	IB31p	鷹の目	IB30p
両手利き	IB32p	防具習熟A/金属鎧	IB31p
全力攻撃	IB36p	防具習熟S/金属鎧	IB32p
二刀流	IB30p	防具の達人	IB32p
命中強化	IB32p	キャパシティ	IB29p
マルチアクション	IB39p	魔法誘導	IB32p
二刀無双	IB31p	魔法収束	IB39p
武器の達人	IB31p	魔法制御	IB32p
双撃	IB30p		p
頑強	IB29p		p
超頑強	IB29p		p

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	13	21	21	21
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	13	21	21	21

鎧と盾		必要 ランク				筋力				回避力				防護点				
鎧	イスカイヤの魔導甲冑 b					26												
盾																		
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)																		
回避技能	ファイター																	
合計値												21	7					

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
グランドアックス 魔法+2 イグニタイト+5	2 H	20	2	2d+ 25	11	26	45										
グランドアックス	1 H 両	20	2	2d+ 25	11	26	35										
ブラジガン 射程10m 弾数6発	1 H	5		2d+ 23	10	18											
ブラジガン	1 H	5		2d+ 23	10	18											
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
10 _m	48 _m	144 _m

回避	防護点
2d+ 21	7

HP
108

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	13	18			
魔動機術	13	18			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 8	2d+ 18

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 17	2d+ 21

MP
143

装備品	説明
頭 ゼレシナイダ(ガジェット)	回復魔法がクリティカルする
耳 数多蝙蝠の耳飾り	不可視敵の修正を-2 見えない状態で行動可
顔 Fマジスフィア	ターゲットサイト クイックローダー
首 Fマジスフィア	
背中 力のカレル	
右手 誓いの指輪	
腰 多機能ガンベルト	
足 袋	
その他ウェポンホルダー	

装備品	説明
Fマジスフィア大	
左手 銀嶺小雀	
バレットポーチ	弾丸12発

その他メモ	自動失敗 チェック
アルシマ・ディヴィノリアは他学園からの留学生で、カルヴァリエにはザルツの歴史と流派を学びにきている。(建前)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
アルシマは中流階級の政略結婚に使われる子供の善だった。だが、結婚相手が突如として別の女性を妻として迎え入れてしまった。それによってアルシマは役目を追われ、家での居場所を失うことになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
彼女は幼いながらもそれを理解したのは8才の時であった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
今まで優しかった大人や使用人すべてがアルシマと距離を置くようになる。だがある日、ディヴィノリア家にアルシマを迎え入れたいという旨の手紙が届く。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
相手は領地を一代で得た優秀な貴族だと知ったアルシマの両親は即座にその婚約を認めた。アルシマはされるがままその貴族の家で過ごすことになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕
彼の家での生活はアルシマにとって天国のようでもあった。夜、私室に呼び出されて眠目を擦りながら抱きしめさせたり、髪の毛を食べ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉙
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉚

